



さざんか



にぎわっている口谷秋祭り

内容

- 事業所探訪（さざんかの家）
- 法人公開研修について
- 第2回 口谷秋まつり
- 突撃！隣のグループホーム（わかばホーム）
- 事業所だより 旅行あれこれ
- 松井理事長より
- 展示会について
- 定期総会・宝塚サマーフェスタ
- 先進地バス見学会
- 後援会会長より
- 看護師さん・栄養士さんの知恵袋
- 人事・日誌
- お知らせ・編集後記

発行 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会/宝塚さざんか福祉会後援会
運営事業所 宝塚さざんかの家 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 宝塚けやきの里 ワークプラザ宝塚
かしの木工房 こはま いきいき宝塚 障害者就業・生活支援センター（あとむ）
相談支援センター（だんぼ） 地域生活支援センター
法人事務局/後援会事務局
宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会 電話0797-83-6544 FAX0797-83-2510
<http://www.sazankafukushi.org/>

ぶらぶらり 事業所探訪

さざんか福祉社会には沢山の事業所がありますが、其々の事業内容やその特徴、どのような利用者さんを対象に…、その支援体制は、作業は主に何をしているの、雰囲気は…等々を広報部員が訪問し、シリーズで掲載致します。

ねざんかの家

まずは、昭和53年の法人設立以来の事業所である「さざんかの家」を訪問しました。



約束の朝10時にお伺いすると、お忙しいにも拘わらず脇田所長と大西主任がにこやかに迎えて下さいました。利用者の平均年齢は31歳と福祉会の事業所の中では、若い人が一番多いそうです。平成21年の新体系になってから、25年までは自立訓練の事業もしていたので、新卒の受け入れのほとんどをさざんかの家で担っていました。定員の40名を超え、今は45人の利用者がおられます。登園率は92%と高く常時41人ほどの利用者さんが来られているとのことですよ。

ここは生活介護が必要な人を対象に事業展開しているので、重度の利用者さんも多く、重度の方の支援は1人対1人で支援をする場面も多いそうです。保護者とは年数回の面談や毎日の連絡帳などで細やかに対応されているそうです。

「身辺自立を目指し、生活スキルを身につける」

- * トイレの後や食事前の手洗いの習慣化
- * トイレの扉の下の床に足跡が描かれてあり利用者さんがここでスリッパを履き替える事が分かるように工夫されていました。
- * 更衣の際にも自分で出来る事は自分でする
- * 衣服のボタン・フアスナーを閉める練習
- * 口内ブラッシングの指導
- * 通院や検診を受ける際の練習として血圧測定なども、過度の緊張をしない様に日常の事として実施しているそうです。
- * 今日も数人、逆瀬台のデイサービスに出向き、喫茶室でお茶を楽しみに出掛けたそうです。自分の財布からお金を出して物を買うのも貴重な体験だそうです。この喫茶室では「かしの木工房」のクッキーを購入して下さっているそうです。



「日課の充実」

事業の主体は利用者さんであることを徹底し、個人に合わせたタイムスケジュールを組み、楽しんで一日を過ごせるように配慮しているとの事です。



- 主なプログラムは
- * 水泳や散歩等での体力維持
- * ボランティアの訪問に依る歌やゲーム
- * あしたば園の音楽活動等に参加
- * レクリエーション

活動
季節の行事
七夕まつりや
餅つき etc



「自立課題のマッチング作業」

作業の小道具として、廊下や階段の壁の隅に見慣れない小さな手作り風の紙箱が取り付けられています。



利用者さんが A地点の箱から持ってきた紐などを、 B地点に移動し、箱の中の同じ色や形の所に置く… つまり運動を兼ねて色や形を識別する練習だそうです。楽しみながら、自然体で勉強出来るように本当によく工夫工夫が感じられます。

「生産活動(作業)」

利用者の方に合わせた作業として

- * 納期がゆるやかで
- * 毎日コツコツと出来る作業が最適

【1階】

階段の昇降が困難な人たちの作業場
主な作業は

- * 木の芽を入れる折箱作り
- 法人設立以来ずっと受注している作業
- * 解体・分解作業
- ・ 銅線などの解体
- ・ アルミ缶潰し



【2階】

階段の昇降に支障のない人たちの作業場
です。

中央のホワイトボードに職員さん、利用者さんの顔写真入りの今日のタイムスケジュールが掲示されていました。皆さんこれを見て確認なさるそうです。

主な作業は

- * パーラービーズのストラップ作り
- 自立課題の作業の効果が活きる作業！
- 複雑なビーズ並びも楽々と…



11月に開催のキャピリンピックの参加賞として六〇〇個受注したので、職員さんの支援もあり2階の利用者さんの7割の人がこの作業に従事しています。大忙しですが皆さんマイペースで楽しく作業なさっていました。

コツコツと…
たゆまなく…



- * マグネットやプレスレット、コースター、ポンポンたわし等々も自立課題で練習した作業効果で生産されているそうです。
- * 「さざんかの家」の伝統ある和風(さざんか風)は諸般の事情により生産中止となり新たな自主生産品を模索中だとか。



【屋外】

- 公園や企業、高齢者施設等の施設敷地の清掃
- * 除草、落ち葉集め等
- ・ 大口の清掃依頼をさざんかの家で一括受け入れ、それを法人内で振り分けるなどの取りまとめをしている。
- ・ 工賃が高く達成感も得やすい…とか

第2回 口谷秋祭り ハロウィン 仮装パーティー ～地域と共に～

平成27年10月2日(金)に、「口谷秋祭り」ハロウィン仮装パーティーを開催しました。この催しは、昨年から実施し今年で2回目となります。

その目的は「口谷地域の住民の方々・いきいき宝夢・ワークプラザ宝塚との合同で祭を行い、三者の交流を深め、施設と地域の協力体制を築いていく」です。第1回目が盛況だったこともあり、10月が近づくにつれ、地域の小学生たちから「今年もパーティーありますか?」と、嬉しい問い合わせも多数寄せられました。また、開催に先立ち、数日前から利用者・ご家族・地域の方々に案内を配布したこともあり、周囲の期待は高まっていったようでした。

当日は1時間前から入場門の前で開催を待ち侘びる大勢の方々の姿が見られました。

入場が始されると一気に人々が受付に押し寄せ、長い行列となつて、対応するのに大わらわでした。

今回も利用者・ご家族・地域の方々・職員がハロウィンにちなんだ仮装で参加し、記念に仮装姿の写真を撮る人の姿も多く見られました。

会場内では恒例の盆踊りへの参加・露店での食べ物の購入など、参加者其々が大いに楽しまれている様子が見られました。



その中のゲームコーナーでは、利用者の方がマイペースですすめている横で待っている子どもたちの笑顔が微笑ましかったです。ほんの小さな出来事ですが、これこそ「共に生きよう」ではないかな?なんて思いました。これからも3回目、4回目と続けていき、小さな参加者の中から「この職員になりたいです」と言ってくれれば、なんて思っている職員たちでした。

第1回・第2回とご協力して頂いたご家族の皆様、地域の皆様には大変感謝しております。この場をお借りし、お礼を申し上げます。(ワークプラザ 主任 趙 鋪光)



趙 鋪光

突撃!隣のグループホーム

第十三回 わかばホーム

今回は9月29日に安倉中の住宅街にある男性4名のホームを訪ねました。

☆ 寄り添う支援

訪問時は、阪上さんと高橋さんが一緒に入浴中で、支援員の大路さんが入浴介助に入っておられました。瀬木調理員さんに迎えられ、リビングでお茶を頂いていると汗を拭きながら支援員さんが入ってこられました。間もなくして風呂上がりでパジャマ姿の二人と津村さん平岡さんも加わり利用者さん4名と支援員さんで夕食が始まりました。今夜の献立はとうがんと鶏肉の煮物、キャベツのお浸し、マカロニサラダ、大根とベーコンの酢のもの、味噌汁、フルーツです。

調理員さんによると「今年は野菜が高騰した為、予算内に収めるのが大変だが、ときどき野菜の差し入れがあるの助かる。今日のとうがんとそのひとつです」とのこと。

食事中、グループホーム主任の谷口さんが巡回に来られ、一部食事介助をされていました。順に各ホームを回られ



はないですね。

☆ それぞれの個性を生かして

阪上さんと高橋さんは宝塚あしたば園に通っておられ、土日もほとんどご実家には帰らずここで過ごされています。二人ともテレビが好きで高橋さんは野球、相撲、時代劇。阪上さんはアニメ全般。二人で仲良く見るのはvs嵐と歌謡コンサートで高橋さんは大声で歌われるとのこと。又、楽しみは土曜日に地域活動センターの「楽樹」を利用してお昼のお弁当を選ぶことだそうです。ずっと一緒なので仲良しなのでしょう。津村さんは育成事業所に通われ、公園の掃除に携わっておられます。終始笑顔で何やら熱心に字を書かれています。又、支援員さんが取り込んだ洗濯物を畳むのも彼の役目とか。



絵が巧い平岡さんは皆さんの家に通われ福祉センターの「こころ」でうどん打ちをされています。相当な腕前とのこと。又、お父さんと山登りをするのが好きなようです。

☆ 責任感とやりがい

突然ワァーという声があり支援員さんが走っていくと、トイレが紙詰まりになって慌てて直している最中に、今度は廊下で失敗があり、またまた、拭き掃除です。こんな事はしょっちゅうあるそうです。

支援員さんが心掛けていることは「ホームはくつろぎの場なので利用者さんには命令ではなく常に提案の言葉を使っている。支援員は交通整理の役目。責任感と共に、やりがいがあり楽しい。ご近所の方々とは良い関係で、利用者さんは挨拶をするようにして苦情はない」など熱く語って下さいました。

☆ めずらしいトイレ

建物全体は広く、ゆとりのある2階造りでした。2階の個室を少し見学させて頂きました。4室の利用者さんの部屋はどの部屋も整理整頓されていて男性らしく、こざっぱりしていました。支援員さんの部屋だけは薬を保管しているので鍵が掛かっていました。トイレは1階と2階にあり、何んということでしょう!男性用小便器まで設置していました。

今回のホームの4人の利用者さんは、言葉での会話は難しいけれど支援員さんとちゃんとコミュニケーションがとられているようでした。気概のある支援員さんの方や、回りの支えや理解があるから利用者さんが地域のグループホームで人として当たり前に暮らせるのですね。(広報部)

だ 所 業 事

神戸市中央区 神戸ポートタワー



(片山 翼)

今年度、宝塚けやきの里では10月9日(金)に神戸方面へ日帰りで旅行を実施しました。集団行動の習得を基本に、普段事業所で行っている日常生活動作への支援の成果を確認すること。また、施設見学や物作り体験を通じて生産活動の工程を学び、事業所において作業認知へ結び付けていくことを目的として実施しました。

神戸港クルーズから始まり、ポートタワー付近にて昼食。須磨海浜水族園の見学や北野工房において和柄のお箸作りに取り組みました。今年度も多数の利用者が参加され、また地域のボランティアの協力を得ることもでき充実した旅行となりました。

宝塚けやきの里

り よ

旅行あれこれ



宝塚せざんかの家

今回せざんかの家の旅行は、旅行会社の方が候補を3カ所挙げて利用者さんの自治会メンバーが中心となり旅行の行き先を選びました。目的は伊賀の里モクモク手作りファームで動物と触れ合いみんなでバーベキュー、温泉等楽しむプランをしました。

バーベキューではみんな勢いよくお肉を食べて、満足そうな顔をされていました。希望者のみ温泉に入りましたが、広々とした温泉でとてもリラックスをさせていて、表情を見ると、とても笑顔でした。帰りに感想を聞くと利用者の方から「楽しかった」の声がありました。

(坂本 宏太)



三重県伊賀市 伊賀の里モクモク手作りファーム



昨年度より『かしの木工房 こはま』では2コースからの行先の選択及び小グループでの活動として実施しています。今年度は利用者さんからの要望が多かった「遊園地で乗り物に乗って楽しみたい」と「豪華な食事を楽しみたい」という意見から①USJコースと②ホテルバイキング後、海遊館と2つのコースに決定しました。出来るだけ利用者さんの個別のニーズに応える事が出来る様計7つのグループで先月末から実施し始めた所です。旅行前、各グループでは作戦会議が行なわれます。「どのお店で昼食にするか?」や「この乗り物に乗りたい」等、皆が意見を出し合います。その話し合いの効果からか?とめていきます。その話し合いの効果からか?ハリポッターエリアに入るグループもありました。もちろん旅行当日は楽しく過ごせてもらう事は当然ですが、事前から気分を盛り上げてもらう事も重要だと思えます。旅行終了後には利用者さんの沢山の笑顔が詰まったアルバムを作りたいと思っています。

(橋本 悟)



かしの木工房 こはま

宝塚あしたば園

ここ数ヶ月、事務所の机の上で存在感を放つ本が一冊あります。「日帰りお出かけ関西1400スポット」です。

今年度、あしたば園では10グループでの日帰り旅行を計画しており、行き先を決めるのにその本がおおいに役立っています。

ここに掲載させていただいている写真は「砥峰高原」で撮影したもので、秋には草原一面のススキが銀色の絨毯となり、美しい景観を見せてくれます。

また、昼食には美味しい手打ちそばを味わい、目にもお腹にも素敵な1日になりました。

(福田 加奈子)



兵庫県神崎郡神河町 砥峰高原

宝塚めづらザ

1日旅行に行って来ました!! 題して、「金閣寺く別荘にお邪魔の旅」めづらザは、行きたい場所の候補を募り京都方面へ。

バス1台で親睦と体験を目的に行いました。京友禅染めの体験をして、世界遺産の金閣寺へ。その後は、トロッコ列車も楽しめました。

初めての世界遺産は、他国の長期休暇とも重なり、人の多さも世界級でした。人をかき分け、ちゃっかり記念撮影をして帰ってきました!!

そして、恒例のホテル豪華昼食バイキングは、皆さん一番良い表情だった様な。今年度は、人ごみにもまれながらも、楽しく意外な一面を沢山見る事が出来て、とても良い旅行となりました。

(松永 仁美)



京都市北区 鹿苑寺(金閣寺)

ワークプラザ宝塚

去年はBBQとリングゴ、今年は近江牛の焼肉とナシでおなかを一杯にして帰って来ました。京都の太秦映画村では、歴代仮面ライダーとスーパー戦隊が大集合!ヒーロー好き必見!皆さん、ヒーローになりきって好きな変身ポーズを決めていました!

(和田 恵子)

ワークの旅行名物は、何と言っても夕食の大宴会です。宴会での盛り上がりは紙面ではお伝えできませんが、体感されたい方は是非ワークプラザ宝塚へ来てください!



京都市右京区 東映太秦映画村ほか

SasanQuality展

〜サザンクオリティーの謎〜

今年もアピアのふれあい広場で11月12日から14日の間、展示会をさせていただきました。今年で3年目となります。

この展示会は、さざんか福祉会の自主生産品の販売を目的とする連絡会の取り組みの一環として企画しています。4月のメンバー顔合わせ当初からそれぞれに担当を決め、少しずつ話し合いを重ねてきました。

今までは、展示会をすることでさざんか福祉会の取り組みを知って貰う事、そして折角近くにサザンクオリティーがあるのだから、集客につながれば、というスタンスでしたが、今回は、5年目を迎えるサザンクオリティーのお店自身に目を向け、お店の魅力的なスタッフや、商品たちを紹介して行くという事になりました。自主生産品のPRも出て、集客につながれば一石二鳥というわけです。

サザンクオリティーは「見せる事業所」としてオープンしました。「障がいがあっても、ちよつとした理解と、支援があれば地域で十分働ける！」という姿を



日常的に地域の方に、見て、関わって、感じてもらうという思いが詰まった事業所です。写真の得意な職員に写真撮影や取材に行ってもらい、お店のパネル製作に使用しました。また、各作業種から日替わりプレゼントを捻出してもいい、1日目は織のコースター、2日目はステンドグラスのストラップ。3日目はなんとシュニッテン。と大盤振る舞いでガンバリました。



その甲斐あって、集客状況はまずまずで、アンケートも145名の方に答えてもらうことができました。売り上げも、いろんな事が重なって最終日は11万円越えと、普段の3倍ほどの売り上げがありました。



(宝塚めふプラザ 所長 溝田 康英)

展示会の会場から、お店に足を運んでいただいたお客様も、およそ90名ほどいらつしやうたようです。

今回サザンクオリティーの魅力をもう一度掘り起すことができ、それを法人内部や地域の方に発信することができました。展示会場の設営や撤収には、毎年お手伝いいただけるボランティアの方もいて、今後も地域への取り組みとして期待してもらえるイベントになればと考えています。

いらねえお祭り

おいしそつでしょ



このクリームパフェいかがですか？でも悲しいかな。食べられないんです。“これは食品サンプルなんです。”

“コーンフレークとクリームを詰めたら、好きな物をトッピング。”

ピンク・グリーン・イエローとマカロンの色は？チョコチップは外せないし、好きなオレঞ্জもいるし、イチゴは定番だし、色々悩んだ結果、写真のようになります。

写真の“食品サンプル”作り（神戸・姫路方面での日帰り旅行で実施）をはじめ、今年度も幾つかの小グループに分かれて、様々な趣向を凝らした日帰り旅行を実施しています。

(竹田 敦子)

サザンのオリデー

秋晴れの10月8日「SasanQuality日帰り旅行」に行ってきました！今回は大阪めぐり。メインは水陸両用車『大阪ダック号』

大阪の街中を走り、大川からスプラッシュイン！！水しぶきを上げ、まるで急流すべりのようなスリルと迫力！よく歩いてよく笑って、ちよつとドキドキ・・・

思いっきり楽しみみりフレッシュ。仲間を気遣い声かけしたり電車の席を譲ったり、チームワークも芽生えています。



なぜ今か？

お店は10月中旬からイベント参加やクリスマスシーズンを迎えるため大忙しになるからです。

なぜ必要？親睦を深める・・・そして気分をリフレッシュさせて明日からの仕事の活力に！！

そう願っています。

(木ノ下 美智代)

宝塚さざんか福祉会の理事・監事・評議員を選任しました

理事(定数 10名)

任期：平成27年11月10日〜平成29年11月9日

- 松井 美弥子 深津 精己
- 一圓 光彌 浅山 みゆき
- 小田切 隆幸 和田 縉市朗
- 小原 冷子 今西 則行(新任)
- 藤本 真砂子 田畑 敦彦(新任)

監事(定数 2名)

任期：平成27年11月10日〜平成29年11月9日

- 大野 セツ子
- 門田 安正(新任)

評議員(定数 21名)

任期：平成27年11月18日〜平成29年11月17日

- 乗鞍 美代子 中田 雅子(新任)
- 筒井 圭子 小南 松美(新任)
- 後呂 公一 松藤 聖一(新任)
- 野口 仁香子 浅尾 敏彦(新任)
- 江守 典子 溝田 康英(新任)
- 神田 守康 大谷 武志(新任)
- 牟田 浩伸 平賀 浩子(新任)
- 島田 康治 上江洲 薫(新任)
- 鶴澤 靖 辻井 善弘(新任)
- 後藤 千奈美 和田 縉市朗
- 竹林 洋一

(順不同・敬称略)

平成27年度 「宝塚さざんか福祉会後援会」 定期総会

平成27年6月5日

アピアホールに於いて午後1時より、来場者80名のもと開催されました。会長の挨拶、来賓祝辞、理事長・保護者の謝辞と続き議事が滞りなく進行されました。謝辞では38年目を迎える「さざんか福祉会の歩み」の簡単な説明があり、厳しい道のりがあったこと、又先人達の努力のおかげで今日があることを再認識しました。

“人を喜ばせるコミュニケーション術”

記念講演は放送作家であり漫才セミナーの講師として活躍中のW M commons(中山真・中原誠氏)の二人にコミュニケーションの極意を聞きました。

コミュニケーションの段階は3ステップ。1共通、2共感、3共同。人は楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しい。相槌ひとつで相手を喜ばすことができる。たとえば『ほんまですから』と同調して返すのは“愛槌”。他者を思いやる心に限界はない。笑いの力では生まれない。等々。人気のあるタレントさんを例にあげて分かりやすく、



時には来場者を巻き込んでお互いの共通点を指摘し合ったりしての具体的なコミュニケーションの取り方の講演でした。来場者は爆笑しながらも互いの心と心が通じ合えると実感した1時間半でした。今日学んだことをいろいろな場面で活かして行きたいと思いました。

“自主生産品を割引価格で...”

会場の入り口周辺では、自主生産品の販売をしていました。後援会会員はサザンクオリティの店舗で自主生産品を2割引で購入できます。しかし、今日は後援会総会の場なので特別に、会員以外の方も割引価格で販売。売り上げは上々とのことでした。これを契機として、会員数の増員につながればと思います。(広報部)



宝塚サマーフェスタ

平成27年8月24日(月)
末広中央公園

☆気球に乗って空を飛べる？

十周年記念イベントで「熱気球体験ができる」とあったのでまず武庫川河川敷に下りてみる。チケットはすでに完売、スタッフもスタンバイしている様子なのに上空には気球の姿が



ない！こんなに青空が広がっているのに...。残念ながら風のため中止。でも、見学にきた若い女性たち、母子連れはちよっとだけ体験させてもらい、写真を写してもらって飛んだつもり。

☆お客さんが続々と...

メイン会場へ上がるとステージではダンスが始まり、中央には特設やぐらが生まれ、ふあふあスライダーが子どもたちの遊び場に。そして飲食、物売、ゲームなどのブースが35も並んでいました。さざんか福祉会のピンクの幟を見つけ直行すると自主生産品がずらりと並べられていました。クッキー、ケーキ、織製品、組みひも、の小物、ステンドグラス製品。工夫した手作りの製品の良さを販売の職員さんが説明し、お客さんとの和やかな風景もありました。



☆夜のつぼりが下り始めると

ますますお客さんの数が増え、飲食店に行列ができ、盆踊りの始まりを告げる賑やかな音頭が響き始めました。もう一度、さざんかのブースをのぞくとあかりがともったステンドグラスがきらきら。お客さんも昼間より多く、ケーキも好評で追加されたようでした。



小田切会長より...

平素は、宝塚さざんか福祉会後援会に多大なご協力を賜りまして誠にありがとうございます。先日、さざり織大阪本部(大阪市都島区)株式会社SATORI様を見学してきました。

機械、作品を豊富に見ましたが、宝塚さざんか福祉会にて製作していただいている作品は、プロの方の製作品に決して劣らない素晴らしい作品であることを改めて認識しました。デザイン性、機能性、用途等最高です。

先日サザンクオリティにて、鞆を購入しました。茶色ベースでもお洒落で、好評です。皆様がたくさんお持ちのペンケースも素敵です。ブックカバー、名刺入なども私のお気に入りです。昨今、他の施設見学をさせていただき思ったことで、食品を取り扱う施設での、衛生面に不安を感じました。コロナクリーナーや、手洗いは十分かもしれませんが、作業場への出入りが簡単すぎる現場を立て続けに見ました。

髪の毛混入や、異物混入等は、致命的です。かしの木工房はまでは、安心・安全の作業をしております。後援会にご入会いただきますと、逆瀬川駅前アピア2「サザンクオリティ」で2割引にて商品をご購入いただけます。

2割引の補助は後援会から負担いたしております。私達の身近で、素敵なお品を取り扱える喜びと、今後の販売促進にご協力をお願い申し上げます。と、今後の販売促進にご協力をお願い申し上げます。ご入会をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

宝塚さざんか福祉会後援会
会長 小田切 隆幸

先進地バス見学会

平成27年11月19日(木)
社会福祉法人ひびき福祉会

パティシエ集団に感嘆の声

11月19日、後援会による施設見学会で、東大阪市の社会福祉法人ひびき福祉会(※)の事業所2カ所を訪問しました。



就労継続支援B型事業所「ハイワークひびき」(定員20名・知的障害者主体)は、ビルの一階にある洋菓子工房です。衛生管理が厳しいため作業スペースには入らず、

大きなガラス窓越しに見学しました。説明を受けるまで支援員と利用者との区別がつかない程、まさにパティシエ集団そのものの仕事ぶりに目を見張りました。支援者の指示がなくても次々と自分の仕事をこなして行くきびきびと無駄のない動き、なめらかな作業の流れ、手順の確かさは、まさに感嘆ものでした。そんな利用者も、オールマイティに仕事ができるわけではなく、それぞれの特性を把握し生かした配置をすることで全体を動かしているとの説明に、福祉支援の本質を感じました。



生ケーキから焼き菓子まで幅広い品揃え、ホテルにも納品する折り紙つきの品質に支えられた「HIBIKI」ブランドですが、それでも利用者に平均3万5千円の手当を支給するだけの売り上げを確保するのは簡単ではないとのことでした。

生活介護事業所「パレットひびき」(定員8名・身体障害者主体)は販売と印刷を主に行う事業所で各地の障害者作業所製品を取り揃え販売しています。梅田スカイビルに移動し、美味しい昼食と空中庭園からの360度大阪展望で見学会を締めくくりました。



※ひびき福祉会は、生活介護等通所の事業所8カ所(合計定員140名)、グループホーム10カ所(合計定員49名)ヘルパーステーション、相談支援事業所を運営しています。(参加保護者 藤巻 恵美子)



看護師さん・栄養士さんの知恵袋

へまを知ですか？ 高齢者の肺炎球菌定期予防接種のこと

ただの風邪や疲れだと思っていたら肺炎だったと耳にしたことはありませんか？

肺炎は、細菌やウイルスなどが肺に入り込んで起こる肺の炎症です。肺炎の原因となる細菌やウイルスは、人のからだや日常生活の中にも存在しており季節に関係なく普段は元気にしている人にも、からだの抵抗力が弱まったときなどにかかりやすく、症状が重くなると命さえ落としかねない疾患です。

肺炎の原因菌にはさまざまな種類がありますが、元気な65歳以上の人が日常でかかりやすい肺炎において最も多いのは肺炎球菌による肺炎です。

肺炎球菌による肺炎を予防するのに有効な成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種が高齢者を対象に平成26年10月より始まりました。定期接種とは予防接種法に基づき自治体を実施する予防接種です。年度により定期接種の対象年齢が決められています。

定期接種を希望される方は、費用の助成などを行っている場合がありますのでお住まいの自治体にお尋ねください。

すべての肺炎を予防できるわけではありませんが肺炎は日本人の死因第3位の疾患です。対象年齢の方は接種をご検討されてはいかがでしょうか。

(保健師 玉井 小恵子)



《ホームページに食事写真掲載中》

みなさんは法人のホームページをご覧になっていますか。いきいき宝夢のホームページには「栄養士より」というコーナーがあり、毎週1回いろいろな料理紹介をしています。

始めたきっかけは、インターネット上に障がい者施設の料理の掲載が少ないこと。毎週献立を立て、色んな料理を出していますが、毎食栄養士からのこだわりメッセージがあるのです。配布する予定献立表には全てを伝えることはできません。少しでも食事についてアピールしていきたい。

「いきいき宝夢の食事はこんな料理です」と、ご家族や法人内グループホームに、入所施設の食事を紹介し参考にさせていただければという思いからです。更により良い食事が提供できるように創意工夫を積み重ねていくことを目的としています。

初めて掲載したのは、昨年12月12日の昼食「寒い日は温かい蒸し寿司をどうぞ」でした。日本の郷土料理や行事・季節の料理、食事も、選択メニュー、新メニュー、工夫を凝らした料理など、いきいき宝夢ならではの内容です。料理写真だけでなく栄養量・コメントも入れています。

食べることは、体に必要な栄養素を摂り入れるばかりでなく、生活に潤いを与え、人とのコミュニケーションにもなり得ます。ぜひ一度ホームページを開いてみてください。

(管理栄養士 玉谷 智美)



人事



5月15日付 総務課付
山下 亮太 (宝塚さざんかの家)

5月20日付 主任級
宝塚さざんかの家 大西 理恵子 (宝塚あしたば園)

嘱託職員
宝塚あしたば園 鶴田 征吾 (ワークプラザ宝塚)

7月1日付 総合施設長
和田常務理事兼務
地域生活支援センター長 和田常務理事兼務
宝塚さざんかの家 加堂 祐介 (かしの木工房 こはま)

臨時職員
宝塚けやきの里 江藤 秀子 (かしの木工房 こはま)

いきいき宝夢 羽土 雄貴 (宝塚あしたば園)

8月1日付 浅山 瑠樹 (宝塚めふプラザ)

いきいき宝夢 浅山 瑠樹 (宝塚めふプラザ)

9月1日付 宝塚けやきの里 三宅 宏典 (新規採用)

臨時職員
宝塚けやきの里 三宅 宏典 (新規採用)

10月1日付 嘱託職員
いきいき宝夢 羽土 雄貴 (新規採用)

《退職》
7月20日付退職
生活支援員 廣島 忠延 (宝塚けやきの里)

7月31日付退職
臨時生活支援員 島田 茂 (いきいき宝夢)

8月31日付退職
嘱託生活支援員 近藤 由果 (宝塚あしたば園)

9月14日付退職
生活支援員 山下 亮太 (総務課付)

9月30日付退職
生活支援員 山本 健一 (相談支援センター)

11月30日付退職
臨時生活支援員 北窓 加代 (宝塚あしたば園)

宝塚さざんか福祉会では職員を募集しています

現在さざんか福祉会では、急募の求人募集を行っています。

生活支援員(通所・入所事業所・グループホーム)、パート調理員、相談支援員等多岐にわたる事業所で、明るく楽しい先輩職員がしっかりと教えます。

介護勤務経験が未経験の方も大歓迎です。相手の立場に立って、きちんと物事を考え行動できる方をお待ちしています。

詳細は宝塚さざんか福祉会のホームページに募集要項を掲載しています。
たぐさんのご応募お待ちしております。

《福祉会ホームページ》
<http://www.sazankafukushi.org/>

※生活支援員の場合

【内容】知的障害者の作業活動支援や食事介助等日常生活活動の支援

【給与】嘱託職員(大卒) 月給190,800円
臨時職員 日給8,190円 時給1,080円

【待遇】交通費規定支給 社会保険、有給休暇、育児・介護休業有(規定による)

【勤務時間】週2〜5日 8:45〜17:15
(うち昼休憩45分)

【勤務場所】宝塚市内の通所・入所事業所

日誌

自平成27年5月1日
至平成27年11月30日

6月5日 宝塚さざんか福祉会後援会総会
6月6日 リサイクル販売会(クリーンセンター)
6月9日〜13日 定期健康診断

7月1、2日 育成会バザー
7月4日 法人公開研修1部
『自閉症・発達障害の方の居心地のいい暮らしのために』

8月13、14日 通所事業所夏期休暇
8月24日 宝塚サマーフェスタ出店
9月1日 なかよしプール
9月5日 夕暮れコンサート(めふプラザ参加)

7月30日 財務基礎研修(こむの事業所)
8月13、14日 通所事業所夏期休暇
8月24日 宝塚サマーフェスタ出店
9月1日 なかよしプール
9月5日 夕暮れコンサート(めふプラザ参加)

10月2日 口谷秋祭り(ワーク、いきいき合同)
10月24日 リサイクル販売会(クリーンセンター)

11月8日 宝塚市障がい者運動会キャピリンピック
11月9日〜17日 インフルエンザ予防接種
11月14日 法人公開研修2部

『本人のことは本人に聞く』
〜コミュニケーションメモ等の使い方〜
榎おめめどう 奥平綾子 氏

11月19日 後援会バス見学会
(東大阪市 社会福祉法人ひびき福祉会)



新商品紹介

ねこばさみ



今年の夏、たくさん作りました！
いつも織系の仕入れの為に持っている、豊能町の稲久保商店で見つけました。
「うちでも作ってみたい、真似していいですか？」と聞くと「どうぞ、どうぞ」と二つ返事。さっそく、一つ購入して帰りました。
縫製職員に型紙を起こしてもらい、試作が始まりました。顔の形が…耳の大きさが…しっぽの長さが…わたの入れ方は…首の付け方は…とあれこれ試行錯誤して今の形になりました。わたの入れ方一つで容姿が変わります。猫らしい

お知らせ



優しい肌触りに仕上げるために丁寧に作ります。作り方は、柔らかい接着芯を適当な大きさに胴体と頭の部分用にカットして、カットした接着芯をこれ！と思う反物にはって、そこに型紙を置いて線を引き切り抜きます。しっぽ部分も共布を用意します。お腹の部分は別の柔らかい（アクリルやウール）布を使います。しっぽを縫ってひっくり返し、胴体の間にはさんで中表にしてミシンをかけ、頭も同じようにミシンをかけます。縫い上がったらひっくり返して洗濯ばさみを胴体に入れ、程よい加減でわたを入れます。頭と胴体両方にわたが入ったらつなぎ合わせて、首にリボンをつけたら出来上がりです。しっぽにつかまる様につないで飾ると可愛いです。

猫好きの人ならきつと手に取って「かわいいね！」と言ってくれます。この夏40個は作ったかな？どこかで見かけたなら手にとって見てくださいね。

(めぷプラザ 主任 堀 京子)



価格：500円 (税込)

編集後記

先日、大阪市平野区にある生活介護事業所を見学する機会がありました。ここはスノーブレンを主とし、障害の重い方や高齢になつた方、作業が苦手な方の利用に特化していました。穏やかに落ち着いた生活を望まれる方にもっと仕事をしたいと思っている方は、そのような事業所に通っておられるそうです。平野区は障害者の事業所が多いので、自分に合った所を選んで通うことができますとお聞きしました。

さざんか広報誌では今回から事業所の紹介をはじめました。色々と制度が変わり、昔に比べて各事業所の特徴が無くなってきたと思われがちになってきた今、特色のある事業所づくりをされている事を取材し、記事を通して皆様に知って頂ければと思います。選べることは福祉会でもとても重要なことだと思います。利用者さんも色々な方がおられます。年齢も幅広く、障害の特性も様々です。各々が自分に合った所を選べられるきっかけになればと、広報部一同で頑張っています。

(広報部 野口 仁香子)

